テーマ：「地区踏査を取り入れた地域の暮らしを理解するための授業の工夫」
カテゴリー：③教育方法（授業）
学校概要：学校名：いわき市医療センター看護専門学校　所在地：福島県いわき市内郷御厩町三丁目 91 番地の 1
　　課程名：３年課程　　１学年定員数：40 名　　修業年限：３年
内容：

本校が立地するいわき市は広大な面積をもつまちで、東側は太平洋に面し西側は阿武隈高地の山間部であり、地域により環境や高齢化率、暮らしぶりなどの違いに大きい特徴がある。

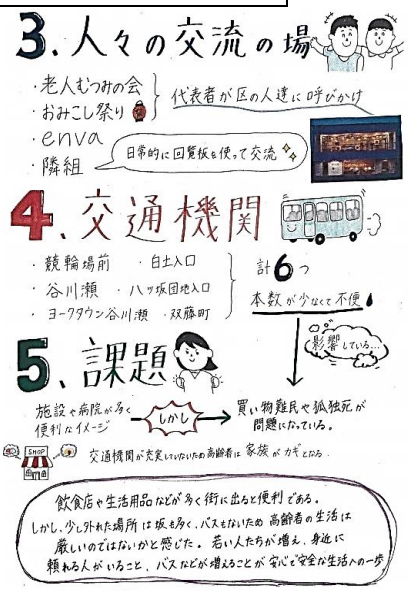
１年次４月より開始する地域・在宅看護論「いわき市の暮らし」の科目では、地域の環境、環境と生活のつながり、地域に暮らす人と暮らしの理解を目的に地区踏査を行っている。暮らしは人それぞれ住んでいる地域特性に大きく影響することから、地域特性の異なるいわき市内の 10 か所に分かれ地区踏査を実施している。学生は実際に地域を歩き回り、地域特有の雰囲気を肌で感じながら、住民が生活している住居や街並み、暮らしぶりなどの情報を収集する。また、区長や民生委員に協力をいただき、学生は地域の方との交流から地域の環境と暮らしやすさ、地域での支え合い活動についてインタビューを行い学びを深めている。具体的な地区踏査の内容は、表１の通りである。

表１　地区踏査の内容

	テーマ	内容
１	地域のデータ収集 （２時間）	・学生は 10 か所に分かれ、地域特性を知るためのデータ収集項目を挙げ調べる。 ・把握できなかった内容を整理し、地区踏査時に調べる内容を明らかにする。
２	地区踏査１回目 （４時間）	・地域の環境、環境と生活のつながりの理解を目標に活動する。 ・地区踏査を実施し、得られた情報、感じたことなどを記録する。
３	１回目活動まとめ （２時間）	・地域特性についてわかったことや生活のイメージ、感想をメンバーで共有する。 ・２回目の活動で把握したい情報、地域の方へのインタビュー項目を考える。
４	地区踏査２回目 （４時間）	・地域に暮らす人と暮らしの理解、地域での支え合いの理解を目標に活動する。 ・地域の方へのインタビューから得られた、地域の環境と暮らしやすさ、健康に関することなど学んだことを記録する。
５	地区踏査まとめ （３時間）	・２ 回の活動から見えてきた地域特性や暮らし、環境と生活のつながりなどを模造紙にまとめる。
６	発表 （４時間）	・市内 10 か所の地区の発表から、地域特性の違いを理解し、その特性の違いが人々の暮らしや健康にどう影響するのか自分なりに考える。

＜学生の学び＞　　（一部抜粋）

・商業施設が多く便利な地区だと思っていたが、交通の便が良くないことに気づいた。高齢者の「買い物難民」が増えていることが理解できた。
・高齢者の中にはごみの管理ができず、家中ごみだらけになってしまう方がいると知った。そういう方の手助けを私たち学生ができればいいなと思った。
・大きな病院の受診は、交通手段の少なさから行くのが大変な上に、一人暮らしの高齢者の方は頼れる人がいなく不安が大きいと思った。
・火災、地震や水害などの災害などがあった時、高齢者だけでは対応できないことも沢山あると思った。地域の支え合いが大事だと改めて感じた。
・高齢化が進んでいたが、地域で見守り隊を結成し、住民一人ひとりを孤立させないという意識を持って活動していた。
・坂や階段が多く、高齢者は家から出る機会が減ってしまうと思った。
・世帯数が少ない地区だからこそ住民の結びつきが強いというメリットがあった。
・地域の高齢者が盛んに活動をしていることを知り驚いた。「自分のことは自分でやりたい」と考える高齢者が多くいることを学び、その人の意思を尊重していくことが大切だと思った。



地区踏査のまとめ（一部抜粋）

＜教員の所感＞

・地域特性が違う地域で活動し学びを共有したことは、生活の環境により抱える悩みや問題が異なることに気づくことができた。
・１年次の早期に地区踏査を実施したことで、地域に暮らす人々の看護は看護の土台になると実感できた。


地区踏査の様子